第８回ちば講座アワード事例調書

（君津市八重原公民館・周南公民館）

パパとキッズ　はじめてのジビエ料理

【内容・ねらい】

地域の教育力の向上と子育て家庭のコミュニティ形成、親子間のコミュニケーションを深めることを目的に、体験学習と交流の場を提供する。また、本事業をきっかけとして、子どもや親世代の継続的な公民館事業参加につなげることを目指す。

今回は、君津市が抱える地域課題である「鳥獣被害」をテーマに、旧香木原小跡地にある猟師工房の原田祐介さんを講師に、ジビエ料理体験を行う。獣害の実態と大切な命を奪うことのモラルジレンマ、人と動物が共存する持続可能な地域づくりについて、親子で考える機会とする。

【参加者の声】

（子）・いのししよりもさるのひがいが多いことをはじめてしった。ジビエ肉をかんとうで一番とりあつかっていることがすごいと思った。
・君津にすみついているいろいろな動物の毛がわがさわれてうれしかった。これからもやせい動物のことについて知りたい。

（親）・ジビエが美味、イメージが変わった。害獣対策に貢献したい。
・君津市の野生動物の話が聞けて良かった。
・勉強会もジビエも楽しめた。ぜひまたの開催を望む。

【成果と課題】

・実際に毛皮に触れ、クイズを交えたお話に子どもも興味を持って聞いていた。ジビエ肉も好評。ちらし通り「見て触れて食べ」る内容となり満足度は総じて高かった。獣害は君津の地域課題であり関心も高いため、今後も積極的に取り組んでいきたい課題である。
・調理も父親全員が進んで行っていた。BBQでは父親同士自然と会話が生まれ、交流する姿が見られた。
・昨年度周南公民館文化祭で作成した「けものマップ」（目撃情報を可視化）を活用することができた。

【事業の様子】

※講座の様子は周南公民館報、八重原公民館ＨＰ等に掲載